

令和2年度 大鰐町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業に係る実施結果

<「感染拡大防止」に係る事業>

(単位:円)

No	事業名	総事業費	交付金充当額	事業期間	事業概要	効果概要	効果実績
1	非接触型体温計導入事業	4,646,400	4,124,000	R2.9~R3.3	感染症対策の一環としての感染リスクの軽減を図ることを目的として非接触型体温計を整備。	感染リスクの軽減を図ると同時に、検温を実施しているという安心感を来場者に与えることができた。また、イベント時に設置することで、円滑な受付を実施できた。	・購入台数 タブレット13台、カメラ6台 ・設置場所 大鰐町役場、大鰐町中央公民館、大鰐町総合福祉センター、鰐come、大鰐温泉スキー場、各種イベント用
2	感染症予防対策備品等購入事業(申告相談用)	307,450	273,000	R2.9~R2.11	申告者に対応する職員の間パーティションを設置することにより、相談者及び職員の感染リスクの低減を図り、感染拡大を防ぐ。	パーティションを設置したことによって相談者は安心して相談することができ、コロナ禍の中にあっても感染者を出すことなく例年通りの対応をすることができた。	多数の人が申告相談に来たにもかかわらず、感染者を出すことなく、スケジュールどおりに申告相談業務を実施することができた。また、対応職員への感染も防ぐことができ、通常どおりの業務を可能とした。
3	感染症予防対策備品等購入事業(公園施設)	3,578,340	3,176,000	R2.9~R2.12	感染症対策の一環としての感染リスクの軽減を図ることを目的としてパーティションや手指消毒用の機器の整備。	スキー場施設内に感染症予防対策機器を整備し、施設利用者からは安心・安全に利用できるという好意的な声があった。また、感染症対策機能向上によるウィズコロナでの利用促進を図っていく。	整備施設数:1箇所(整備率100%)
4	感染症予防対策備品等購入事業(給食センター)	835,043	741,000	R2.9~R3.2	感染症対策の一環としての感染リスクの軽減を図ることを目的として給食センター内備品等を整備。	学校給食センター内の備品等を整備し、「安心・安全な学校給食」を提供できた。感染症対策機能向上によるウィズコロナでの利用促進を図っていく。	整備施設数:1箇所(整備率100%)
5	介護ロボット等導入促進事業	47,683,699	42,327,000	R2.9~R3.3	介護従事者の介護負担だけでなく、濃厚接触機会の低減や感染リスクの軽減を図ることを目的として介護施設におけるロボット技術を導入。	特別養護老人ホーム等に介助ロボットや見守りセンサー及びバイタル測定機能搭載介護用ベッド等を導入し、入所者との接触時間を極力短縮することにより、感染リスクを軽減することができた。	整備施設数:5施設
6	インフルエンザ予防事業(当初)	7,485,000	5,548,000	R2.4~R3.2	医療機関の混乱防止を目的に、新型コロナウイルス感染症と見分けが付きにくい季節性インフルエンザの感染防止を図るため、インフルエンザ予防接種の接種費用助成を行う。	インフルエンザ予防接種の接種状況では、乳幼児で約8割と高い接種率であった。住民からは「助成があることで接種ができた」「感染予防になって良かった」等の声があった。また、インフルエンザの流行もみられなかった。	【接種者数(接種率)】 ・乳幼児(生後6か月から就学前):延べ424人(78.3%)※2回接種 ・65歳以上:2571人(64.3%) 【助成金額】7,485,000円
7	インフルエンザ予防事業(対象拡大)	7,831,750	6,951,000	R2.9~R3.3	医療機関の混乱防止を目的に、新型コロナウイルス感染症と見分けが付きにくい季節性インフルエンザの感染防止を図るため、インフルエンザ予防接種の接種費用助成を行う。	インフルエンザ予防接種の接種状況では、乳幼児で約8割と高い接種率であった。住民からは「助成があることで接種ができた」「感染予防になって良かった」等の声があった。また、インフルエンザの流行もみられなかった。	【接種者数(接種率)】 ・乳幼児(生後6か月から就学前):延べ424人(78.3%)※2回接種 ・7~12歳:延べ380人(70.5%)※2回接種 ・13~64歳:1,761人(37.9%) ・65歳以上:2,571人(64.3%) 【助成金額(対象拡大分)】7,831,750円
8	非対応型観光案内ツール導入事業	2,046,000	1,816,000	R2.9~R3.3	観光案内時の接触機会を減らすことにより感染リスクの低減を図るため、非対応型のデジタルサイネージを活用した観光案内ツールを導入。	コロナ禍により観光客が低迷する中で、町の玄関口である大鰐温泉駅構内に非対応型のデジタルサイネージを導入することにより、町の魅力を発信し、観光客の満足度向上に寄与した。	整備設備数:1基(整備率100%)

9	避難所感染防止対策事業	46,112,000	40,933,000	R2.9～R3.3	災害時において感染症対策を考慮した避難所の運営に必要な施設用品等の整備。	感染症対策を考慮した避難所運営時に必要となる施設用品等を整備したことにより、防災力の向上が図られた。	避難所における感染症対策を考慮した際の避難者数(1,360人)分の施設用品(ダンボールベッド、毛布、マット等)を整備。また、単身避難者用のテント、複数避難者用のカーテンパーテーションも整備し、感染症対策を考慮した防災力の向上が図られた。
10	書籍消毒機導入事業	935,000	830,000	R2.9～R3.3	図書館利用者が図書資料を安心して利用することが出来るように消毒機を設置。	消毒液等で拭き取ることが出来ない書籍を消毒機を使用することにより、利用者に安心を与えている。	整備施設数: 1箇所(整備率100%)
11	公共的空間安全・安心確保事業(役場庁舎)	4,594,593	4,078,000	R2.9～R3.3	役場庁舎における感染拡大防止対策を図るため、庁舎内のトイレ及び手洗い場の自動水栓化等改修工事を実施。	役場庁舎のトイレ及び手洗い場の自動水洗化等の整備を行い、感染拡大防止が図られた。	【整備設備数】 ・男子トイレ 小便器6、大便器2 ・女子トイレ 3 ・多機能トイレ 1 ・手洗器 18
12	公共的空間安全・安心確保事業(総合福祉センター)	2,245,975	1,993,000	R2.9～R3.3	感染拡大防止対策として、トイレ及び手洗い場の自動水洗化工事を実施。	感染リスクの低減が図られ、「安全・安心な施設利用」に繋がっている。	施工箇所数: 31箇所
13	公共的空間安全・安心確保事業(斎場)	2,129,971	1,890,000	R2.9～R3.3	感染症拡大防止対策を図ることを目的にトイレの手洗い場の自動水洗化及びトイレ洋式化改修工事を実施。	斎場のトイレの手洗い場の自動水洗化及びトイレ洋式化改修工事を実施することで、利用者からは、「安全・安心に利用することができる。」との意見が寄せられた。	施設設備数 多機能WC他計3箇所(整備率100%)
14	公共的空間安全・安心確保事業(総合案内所)	2,334,054	2,072,000	R2.9～R3.3	感染症対策の一環としての感染リスクの軽減を図ることを目的として総合案内所トイレ及び手洗い場の洋式化・自動水洗化への整備を実施。	器具との非接触により安心安全な利用が可能となった。	整備箇所数: 5箇所(整備率100%)
15	公共的空間安全・安心確保事業(駅舎)	23,034,000	18,838,000	R2.9～R3.12	大鰐温泉駅舎における感染拡大防止対策を図るため、事務室空調設置及びトイレ洋式化等改修工事を実施。	町の玄関口である大鰐温泉駅のトイレを自動水洗化することにより、感染拡大防止が図られた。	【整備設備数】 ・男子トイレ 小便器2、大便器1 ・女子トイレ 2 ・共用トイレ 小便器1、大便器1 ・多機能トイレ 1 ・手洗器 3
16	公共的空間安全・安心確保事業(観光案内所)	432,407	383,000	R2.9～R3.3	観光案内所における感染拡大防止対策を図るため、トイレ及び手洗い場の自動水栓化改修工事を実施。	観光案内所のトイレ及び手洗い場の自動水洗化等の整備を行い、感染拡大防止が図られた。	【整備設備数】 ・小便器 2 ・手洗器 4
17	公共的空間安全・安心確保事業(公園施設)	5,940,000	5,273,000	R2.9～R3.3	感染症対策の一環としての接触機会の軽減を図ることを目的としてトイレ及び手洗い場の自動水栓化への整備を実施。	公園施設内のトイレ及び手洗い場を自動水栓化したことで、施設利用者からは安心・安全に利用できると好意的な声があった。また、感染症対策機能向上によるウィズコロナでの利用促進を図っていく。	整備施設数: 11箇所(整備率100%)

18	公共的空間安全・安心確保事業 (小学校)	3,711,400	3,294,000	R2.9～R3.3	感染症クラスターの発生源となることを防ぐために、トイレ等の衛生環境の整備を実施。	触れる部分を非接触とすることができたことにより、衛生環境が保持できるとともに、学校関係者の感染リスクを軽減することができた。	整備施設数：1箇所(整備率100%)
19	公共的空間安全・安心確保事業 (中学校)	33,524,150	27,658,000	R2.9～R3.10	感染症クラスターの発生源となることを防ぐために、トイレ等の衛生環境の整備を実施。	触れる部分を非接触とすることができたことにより、衛生環境が保持できるとともに、学校関係者の感染リスクを軽減することができた。	整備施設数：1箇所(整備率100%)
20	公共的空間安全・安心確保事業 (中央公民館)	4,281,421	3,800,000	R2.9～R3.2	感染症クラスターの発生源となることを防ぐために、トイレ等の衛生環境の整備を実施。	触れる部分を非接触とすることができたことにより、衛生環境が保持できるとともに、施設利用者の感染リスクを軽減することができた。	整備施設数：1箇所(整備率100%)
21	公共的空間安全・安心確保事業 (多目的広場)	1,933,579	1,716,000	R2.9～R3.2	感染症クラスターの発生源となることを防ぐために、トイレ等の衛生環境の整備を実施。	触れる部分を非接触とすることができたことにより、衛生環境が保持できるとともに、利用者の感染リスクを軽減することができた。	整備施設数：1箇所(整備率100%)
22	学校保健特別対策事業費補助金	1,606,000	715,000	R2.9～R3.3	図書室利用者が図書資料を安心して利用することが出来るように消毒機を設置。	消毒液等で拭き取ることが出来ない書籍を消毒機を使用することにより、利用者に安心を与えている。	整備施設数：2箇所(整備率100%)
		207,228,232	178,429,000				

令和2年度 大鰐町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業に係る実施結果

<「雇用維持・事業継続/困窮者支援」に係る事業>

(単位:円)

No	事業名	総事業費	交付金充当額	事業期間	事業概要	効果概要	効果実績
1	事業者緊急対策支援事業	33,800,000	19,038,000	R2.5~R3.1	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業者の事業継続を支援するため、町内事業者に対し給付金を支給する。	町内事業者の事業継続支援に寄与した。	受給事業者数:158事業者
2	新生児特別定額給付金給付事業	2,900,000	2,574,000	R2.6~R3.3	コロナ禍による世帯の収入減少を受け、経済支援の一環で出産を迎える子育て世帯への給付金を支給。	コロナ禍における経済支援の一環で、新生児1人につき10万円の給付金を支給。	受給者数:29人
3	新しい生活様式対策支援事業	30,202,000	26,810,000	R2.9~R3.1	事業者による感染防止対策の取組強化を推進するため、「新しい生活様式」に向けた感染防止対策等の取組みに要する経費に対して、1事業者あたり30万円を上限に補助する。	感染防止を図るための設備の改修等により、コロナ禍においても来店者が安心・安全に利用できる環境を整備した。	受給事業者数:118事業者
4	学校給食費負担金減免事業	18,171,491	13,668,000	R2.9~R3.3	コロナ禍による世帯の収入減少を受け、経済支援の一環で子育て世帯(大鰐町小・中学生の保護者)への給食費の無償化を実施。	コロナ禍における経済支援の一環で大鰐町小・中学生の保護者への給食費の無償化を実施したことで、経済的負担の軽減につながった。	・受給者数:小学生254人、中学生143人 ・受給率100%
5	学校給食費等助成事業	805,973	715,000	R2.9~R3.3	コロナ禍による世帯の収入減少を受け、経済支援の一環で子育て世帯(大鰐町小・中学生の保護者)への給食費の無償化を実施。	コロナ禍における経済支援の一環で大鰐町小・中学生の保護者への給食費の無償化を実施したことで、経済的負担の軽減につながった。	・助成者数:小学生9人、中学生18人 ・受給率82%
		85,879,464	62,805,000				

令和2年度 大鰐町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業に係る実施結果

<「地域経済活性化」に係る事業>

(単位:円)

No	事業名	総事業費	交付金充当額	事業期間	事業概要	効果概要	効果実績
1	消費拡大支援事業	97,692,000	86,719,000	R2.6~R3.3	地域経済の活性化及び住民生活支援のため、全町民に対し町内で利用可能な商品券(1万円/人)を配布する。また、ひとり親家庭等に対して児童数に応じた商品券(1万円/人)を上乗せして配布する。	町内店舗で利用できる商品券を無料配布することにより、町内事業者を支援するとともに、低迷する地域経済の活性化に寄与した。	配布セット数:9,395セット(換金実績額93,192,000円)
2	冬季観光促進事業	18,990,630	3,542,000	R2.11~R3.3	新型コロナウイルス感染症による観光需要激減の中で、落ち込んだ観光需要の早期回復のため、スキー場施設の支援を実施。町内宿泊施設宿泊者に対し大鰐温泉スキー場のリフト利用料(1日券)を全額給付する。	コロナ禍による観光需要激減の中で、冬季観光誘客に向けて、スキー場施設への直接補助を実施したことで、これまでも課題であった冬季観光の誘客に寄与した。また、近隣商業施設等にもスキー場利用客の立ち寄りを確認し、消費喚起効果につながった。	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊者 リフト券発券数 大人509枚/小人・シニア80枚 ・鱒come入浴料割引人数 大人1,472人/小人299人 ・ワンコインデー リフト券発券数 大人5,219枚/小人・シニア232枚
		116,682,630	90,261,000				

令和2年度 大鰐町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業に係る実施結果

<「次への備え」に係る事業>

(単位:円)

No	事業名	総事業費	交付金充当額	事業期間	事業概要	効果概要	効果実績
1	公立学校情報機器整備事業	16,809,905	14,922,000	R2.7~R3.3	コロナ禍に伴う休校のリスクを踏まえ、リモート授業実施に向けた児童生徒一人1台のタブレット端末を導入した。	幸いにも、コロナ禍に伴う休校期間は非常に短期間であったことからリモート授業の実績はないものの、今後臨時休校が発生した際のリモート授業実施に係る機器整備を行うことができたため、児童生徒の学習保障に繋がった。	タブレット端末導入台数:実施前0台 ⇒完了後:455台 (町立学校に在籍する全ての小中学生及び教職員分の導入を達成)
2	テレビ会議環境構築事業	6,670,799	5,934,000	R2.9~R3.3	コロナ禍に伴い、会議や打合せ、研修等のリモート実施へ対応するために、テレビ会議環境の整備を実施。また、災害時等の活用も視野に役場、大鰐町中央公民館、町立大鰐病院の3拠点で同時に使用できるように整備した。	テレビ会議環境を3拠点で整備したことによって、庁外とのやりとりをリモートで円滑に実施できるようになった。また、会議や打合せ、研修等に限りならず、成人式のリモート参加等にも活用できた。	大鰐町役場、大鰐町中央公民館、町立大鰐病院それぞれにパソコン、タブレット、ポケットWi-Fi、プロジェクター、スクリーン等の一式を配備し、3拠点で同じ環境を整備した。
		23,480,704	20,856,000				